

令和5年度 中学生ものづくり体験教室実施要領

この事業は、島根県（商工労働部雇用政策課）からの委託を受けた事業者が実施します。

実施にあたっては学校側と連携を密にし、できる限り学校の希望に添える形での開催に努めます。

実施に係わる要領は概ね次のとおりとします。

- (1) 派遣する職種、スケジュールは事前に学校側と協議し決定。
- (2) 生徒の希望を勘案し、「1職種20名～35名（できるだけ均等）」にグループ分け。
ただし、日本料理職種は講師の確保上16名程度（最大20名、4～5グループ）とします。
- (3) 実習時の服装は、基本的には「トレーニングシャツ」「トレーニングパンツ」。
- (4) 標準的な時間割は下表のとおり。

次 第	開講式(全体) 講堂等、司会進行:学校				移 動	職 種 別 実 施 (各教室)					移 動	終講式(全体) 講堂等、司会進行:学校			半 日 (3～3.5時間)
	校長挨拶	講師紹介	講師代表 挨拶	注意事項	各教室へ	講師自己紹介 内容説明(講師)	講 話 実 習	後片づけ	質疑応答	途中休憩 そ の 他	終講式 会場へ	作品披露と感想 各体験職種の代表	講師代表 講評	校長挨拶	
所要時間(分)	10				(5)	160～180					(5)	10			180～210

(記) 作品披露は複数職種実施の場合

- (5) 体験学習の実施概要（内容等）は別表1～3のとおりです。
- (6) 実施後、受講生徒全員及び学校からの感想文を提出していただきます（後日で可）。
- (7) 実施に係わる経費は島根県及び受託事業者が負担します。

実施概要（1）

区分	職種	団体名	派遣講師	対象人数	体験学習 〔実施形態〕	学習内容	学校で準備するもの		技能士会で準備するもの		備考
							会場	作業台、用具等	器具工具類	材料	
I 建設 関連	造園	島根県造園 技能士会	3	20 ） 35	竹を使ってミニ竹垣を 製作 「個人別作業」	1. 造園についての講話 2. 半加工した部材を使ってミニ 竹垣を製作 ・竹の取り扱い方 ・道具の扱い方等	一般教室 又は工作室	特に必要なし ・机 ・椅子 ・鉛筆2B ・ドリリング時の座板 木端材を4枚程度	・園芸用のこ ぎり ・ハサミ ・切出ナイフ ・電動ドリル ・その他	・半加工の竹垣部材 ・竹ひご ・ビニールタイ ・針金、等	自然に親しむ心の育成と 「ものづくり」の楽しさ を体験してもらいたい。
	石工	来待石灯ろう協同 組合技能士会 松江石灯ろう協同 組合技能士会	3	20 ） 35	来待石の石版を使用し ての彫刻体験 (レリーフを作成) 「個人別作業」	1. 来待石についての学習 ・来待石の特徴、歴史、加工 加工用途、製品等の講話 ・伝統工芸技能者の体験談 2. 石工具（ノミや金槌、ツツキ） の使い方	屋内外いず れでも可 (天候に応 じて)	・鉛筆2B又はチョーク ・下絵（事前に彫 刻したい絵柄を 180mm×180mmの 紙で各人準備） ・ブルーシート	・石のみ ・ツツキ ・かなづち ・ドンゴロス (下敷き麻袋)	・軟石板 W:200mm H:200mm t: 50mm	伝統的工芸品の指定を受 ける出雲石灯ろうをはじ め、来待石を使った郷土 製品についての学習と、 「ものづくり」の楽しさ を体験してもらいたい。
	タイル張り	島根県タイル 技工会	2～3	20 ） 35	アートモザイクの製作 タイルの額縁に モザイク絵を作成 「個人別作業」	1. タイルについての講話 2. 事前に自分でデッサンした絵 をもとに、様々な形状、大き さや色のザイクタイルを300mm ×300mmの額縁ボードに自由に 貼り付けてモザイク絵を作成	一般教室 又は工作室	・机 ・椅子 ・下絵 ・筆記用具 ・ティッシュ	・ボンド塗り 付用ヘラ	①額縁 300mm×300mm1枚 ②モザイクタイル 大小異形状で、 様々な色のタイル ・ボンド	アートモザイクは、自由 な発想により個性を表現 し、自己のイメージを演 出する能力を養うととも に、感性を高めるのに適 しています。
	建築板金	島根県建築板金 技能士会	4	20 ） 35	銅板のレリーフ 「個人別作業」	1. 建築板金についての講話 2. 150mm×200mm厚さ0.15mmの銅 板の上に下絵(線画)を描き、 竹べら等を使って凸凹をつ けて銅板レリーフを作成	一般教室 又は工作室	・机、椅子 ・描きたい下絵が あれば生徒持参 ・筆記用具 ・ティッシュ	・竹べら ・マット ・その他	・銅板 ・下絵（イラスト） ・額縁	ものづくりを通じて根気 、集中力を養うとともに 作品を持ち帰り、茶の間 の話題づくりに生かして もらいたい。
建築大工	島根県建築組合 連合会技能士会 平田技能士会 大田地域技能士会	3	20 ） 35	ミニ椅子の製作 「個人別作業」	1. 建築大工、木材についての講話 2. のこぎりの使い方 かんなの使い方 かなづちの使い方	工作室	・のこぎり ・かんな ・かなづち ・釘抜き（4～5個） ・木工ボンド ・筆記用具	・のこぎり かんな かなづち の予備 (若干数)	・半加工の木材 ・釘 ・ボンドの予備	一つの物を作り上げるこ との感動を体験してもら い、自からの手で完成し た物を慈しむ心を養って もらいたい。	

実施概要（2）

区分	職種	団体名	派遣講師	対象人数	体験学習 〔実施形態〕	学習内容	学校で準備するもの		技能士会で準備するもの		備考
							会場	作業台、用具等	器具工具類	材料	
I 建設 関連	建具	島根県建具協同 組合技能士会	2～3	20 ～ 35	「亀甲文様組型のミニ 障子飾り」の製作 「個人別作業」	<ol style="list-style-type: none"> 木と建具についての講話 <ul style="list-style-type: none"> 木の種類（広葉樹、針葉樹、常緑樹、落葉樹等） 木の性質（柃目、板目、冬目、夏目等） 建具の種類（襖、障子、硝子戸、板戸等） 建具の役割（開き引き戸、開口部の開閉、目隠し等） あらかじめ加工してある亀甲文様組型の部材を組立て、和紙を貼ってミニ障子を製作 	一般教室 又は工作室	<ul style="list-style-type: none"> 机 椅子 筆記用具 かなづち5挺程度 糊付け時の下敷き用に古新聞を少々 ティッシュ 	<ul style="list-style-type: none"> ボンド塗り付用ヘラ 刷毛 のこぎり他 	<ul style="list-style-type: none"> 亀甲文様組型部材 ミニ障子組立用の部材 障子紙 ボンド 糊 その他 	木についての知識を得ることにより、自然環境に関心を持っていただき、自然が生み出す有限の恵みを大切にすることを育ててもらいたい。
	畳製作	島根県畳製作 技能士会	3	20 ～ 35	「ミニ畳」の製作 「個人別作業」	<ol style="list-style-type: none"> 日本建築における畳の特性等についての講話 手縫いとタッカー止めによるミニ畳の製作 	一般教室 又は工作室	<ul style="list-style-type: none"> 机 椅子 筆記用具 	<ul style="list-style-type: none"> タッカー 縫い針、糸 定規 木槌 はさみ クリップ 鉛筆 その他 	<ul style="list-style-type: none"> 畳床用ボード 畳表 畳縁 下紙 床敷用畳表 紋縁 その他 	日本の風土に適した畳の特性と、先人達の智恵を学んでもらうとともに、「ものづくり」の楽しさと、物を完成させることの喜びと感動を与えたい。
	左官	島根県左官 技能士会 邑智地域技能士会	3～4	20 ～ 35	漆喰コテ絵製作 「個人別作業」	<ol style="list-style-type: none"> 日本建築における左官工事の特性等についての講話 匠の技を生み出す左官コテの説明 色漆喰、コテの使い方 木製パネル（300mm×400mm）に漆喰でコテ絵を製作し余白に絵の具を塗って完成する 	工作室又は 近くに給排水設備のある一般教室	<ul style="list-style-type: none"> 作業台 椅子 絵の具セット 筆記用具 下敷き用古新聞 ティッシュ 	<ul style="list-style-type: none"> 専用コテ コテ板 ブラシ その他 	<ul style="list-style-type: none"> 木製パネル 白セメント 練り漆喰 色粉 接着材 下絵 その他 	伝統の技、コテ絵による漆喰彫刻を体験し、先人達の素晴らしさを自分達の手で完成させ、作ることの楽しさと、完成させた時の喜びを体験してもらおうことです。

実施概要（3）

区分	職種	団体名	派遣講師	対象人数	体験学習 〔実施形態〕	学習内容	学校で準備するもの		技能士会で準備するもの		備考
							会場	作業台、用具等	器具工具類	材料	
Ⅱ 消費 関連	和裁	(一社) 日本和裁士会島根県支部	3	20) 35	刺し子(さしこ)製作 絹反物に刺し子をする (ランチョンマットなどにも使用できます) 「個人別作業」	1. 和裁についての講話 ・日本古来からの和服について ・ハサミを使つての裁断の仕方 ・針を使つての縫い方 2. 刺し子の製作 縞の柄を利用して刺し子やネームをする。四方を折り込んで縫い、裏をはりつける	家庭科教室 がよいが、 一般教室でも可	・裁縫用具 ・筆記用具 ・アイロン、アイロン台を3台程度	・絹針 裁縫用具の予備	・絹反物 ・接着芯 ・絹糸 ・その他	みんなと一緒に「ものづくり」を楽しみ、家庭での話題づくりのきっかけになれば、と思います。
	洋裁	島根県洋装技能士会	3	20) 35	エプロン製作(男女兼用) 「個人別作業」	1. 洋裁についての講話 ・ミシンの取扱い方 ・まつり縫い ・ボタン付け 2. エプロンの製作	家庭科教室 又はコンセントが5か所程度 使える教室	・洋裁用具一式 ・筆記用具 ・ミシン5台 ・アイロン3台 学校で準備できない場合、技能士会で準備可能です	ミシン5台 アイロン、アイロン台3台 ※学校で用意できない場合のみ	・布地 ・ミシン糸 ・まつり、ボタン付糸 ・接着芯 ・ボタン ・綿テープ	普段の生活の中で基礎となる縫い方(ズボン・スカート等の裾まつり、ボタン付け、スナップ付け、ミシン縫)これらの全ての課程をエプロン製作に取り入れました。
	表具	島根県表具内装技能士会	3	20) 35	ミニ屏風作り 「個人別作業」	1. 表具についての講話 2. ミニ屏風の製作 ・表装の仕方 ・糊の選定、刷毛の使い方 ・裏打ち ・ミニ屏風組立	工作室又は近くに給排水設備のある一般教室	・机、椅子 ・筆記用具(2B鉛筆) ・物差し ・糊付け時の下敷き用古新聞1人4枚程度 ・ティッシュ	・カッター ・カットマット ・ハサミ ・刷毛 ・アイロン ・スチール製物差し ・クリップ	・木製台紙 ・裏打用紙 ・糊、ボンド ・その他(書、絵画)	裏打ち、紙での蝶つがいの作り方、表装の仕方を学び、思い出の記念として残してもらいたい。
	日本料理	島根県日本調理技能士会	4～5	16) 20	旬の食材を使つての料理造り(郷土料理等) 「調理台単位の4～5人1組のグループ作業」 ※対象人数は派遣講師の範囲内とします(グループ分けの事前検討要)	1. 日本料理についての講話 ・食材、調味料の選び方 ・庖丁、器材の扱い方 ・調理方法 2. 調理実習、試食 ①鮮魚の野菜あんかけ ②肉と蒸し野菜 ③青菜と揚の煮浸し ④鶏御飯 ⑤蛸貝のすまし汁 ⑥水菓子 の6品を作り、全員で試食	調理実習室	調理台、庖丁、まな板、鍋、ボール、ザルこし器、計量カップスプーン、調理箸、蒸し器、炊飯器等の調理用具一式と盛付け用の食器、箸等 他にはエプロン、布巾(ペーパータオル)魚調理時の処理用に古新聞を少々	・庖丁の予備を7丁	・食材一式 ・調味料一式	楽しく学び、おいしく食べて、家庭での手伝いができるきっかけになればと思います。